オウバク末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は鮮黄色～黄色を呈し，弱いにおいがあり，味は極めて苦く，粘液性で，唾液を黄色に染める．

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，しばしば結晶細胞列を伴う黄色で厚壁性の繊維束又は繊維の破片，これより少数で異形細胞を混じえる石細胞群，でんぷん粒及び油滴を含む柔細胞の破片，放射組織の破片，師部組織の破片，粘液塊及びこれを含む粘液細胞を認める．シュウ酸カルシウムの単晶は多数で径 7～20μm，でんぷん粒は単粒及び 2～4 個の複粒で，単粒の径は 2～6μm，油滴はズダンⅢ試液で赤く染まる．